

令和5年度薬剤師の資質向上等に資する研修事業
感染対策に関する研修プログラム

研修項目	学ぶべき事項	達成目標	研修時間
1. 標準予防策と経路別予防策	1) 標準予防策の概要 2) 感染経路別予防策の概要	1) 標準予防策及び感染経路別予防策の具体的な方法について理解し、説明及び実践できる。	30分
2. 洗浄・消毒・滅菌	1) 洗浄、消毒、滅菌、清掃の基本的事項（定義、ス波尔ディングの分類など） 2) 洗浄、消毒、滅菌の種類と方法	1) 洗浄、消毒、滅菌、清掃の基本的な事項について説明できる。 2) 洗浄、消毒、滅菌、清掃について、方法と特徴を理解し、実践できる。	30分
3. 血液粘膜曝露対策	1) 針刺し・切創等の血液・体液曝露対策	1) 各種の鋭利器材の取扱い、受傷・曝露が生じた場合の対処法を実践できる。	30分
4. 個人防護具の適正使用	1) 個人防護具（マスク、グローブ、フェイスシールド、ガウン等）の適正使用	1) 個人防護具の適切な使用方法を理解し、実践できる。	40分
5. ワクチンによる感染症の予防	1) ワクチンの分類 2) ワクチンで予防可能な疾患 3) ワクチンによる副反応	1) ワクチンの基本的な事項（分類、日本で接種可能なワクチンの種類、副反応、キャッチアップ接種）を理解し、説明できる。	20分
6. 感染微生物と検査	1) 感染微生物の検査方法 2) 検査結果の意義	1) 感染微生物の検査方法の特徴を理解し、説明できる。 2) 「検査精度」、「検査前確率」を理解し、検査を行う意義を説明できる。	20分
7. アウトブレイク対策	1) アウトブレイクの原因となる代表的な病原体 2) アウトブレイク対策	1) アウトブレイクの原因となる代表的な病原体の特徴を理解し、説明できる。 2) アウトブレイク対策を理解し、実践できる。	20分
8. 抗菌薬適正使用と AMR 対策アクションプラン	1) 薬剤耐性細菌の現状と問題 2) 薬剤耐性細菌の対策	1) 薬剤耐性菌の現状と問題を理解し、説明できる。 2) 薬剤耐性細菌の対策として、抗菌薬の適正使用と感染対策が重要であることを理解し、実践できる。	20分
9. 感染対策における平時及び緊急時の医療機関や行政等との連携	1) 新興感染症等の発生・まん延に備えるための制度 2) 新興感染症等の発生・まん延時における医療機関等に求められる役割	1) 新興感染症等の発生・まん延に備えるための制度を理解し、説明できる。 2) 新興感染症等の発生・まん延時に求められる薬局の役割を理解し、実践できる。	20分
			計 230分